

5. 避難所の運営

①避難所の開設と運営状況

		7月6日(金)		7日(土)		8日(日)	9日(月)
		(午後)	(夜間)	(午前)	(午後)		
早稲田集会所							
避難所開設		14:25					14:00
		開設					閉鎖
避難者		35名			0名		
区役所職員		2人		2人		2人	2人
地域スタッフ		5～6人			7～8人		5～6人
避難所運営	西田					女性会 などの ボラン ティア	女性会 などの ボラン ティア
	西本						
	荒巻						
	吉岡						
	長田						
	宮原						
早稲田公民館							
避難所開設			20:40		屋過ぎ		
		開設		閉鎖			
避難者		14名					
区役所職員		1人		0人			
地域スタッフ		1人					
運営	長田						
	宮原						
	山崎						

②避難所運営で評価できるもの

1) 迅速な開設体制の確保（早稲田集会所）

避難所として使用する早稲田集会所を開ける要員について、地域に2名常駐できる体制を確保しており、避難情報が出てから10分以内で避難所が開設できた

2) 避難者の事情に合わせた居住環境の確保（早稲田集会所・早稲田公民館）

集会所は1階（ホール）と2階（小部屋）、公民館は各研修室など部屋単位で避難者を区分し、心の病のある家族のいる避難者、ペット連れの避難者などに対しては、専用室で避難してもらうことで避難しやすい居住環境が確保できた

3) 良好な避難所運営体制の確保（早稲田集会所・早稲田公民館）

避難所運営の核となる主要要員がすみやかに集まるとともに、避難所の近隣住民の方が、避難所運営スタッフの食事の用意などの手伝いを協力してくれたので、良好な避難所運営体制を維持できた

4) 関係各所との情報交換、連携

災害発生により孤立した住民の存在を把握した際に、消防署への救助要請を行い速やかな救助につなげるなど、関係各所との連携が図れた

5) 朝食の提供（早稲田集会所・早稲田公民館）

7日の朝は公的な食料配給が無かったが、地域の協力により食材を持ち寄って朝食を提供することができた。